

半田市 蔵出し情報 報道機関提供資料

問い合わせ

福祉部 生活援護課
課長 間瀬 直人
内線 367 (0569-84-0677)
担当 邑上、古川

令和元年10月28日提供 (事前情報・事後情報)

名 称	ひきこもり家族教室 ～臨床心理士と考える当事者と向き合うコツ～
日 時	令和元年11月23日～ 令和2年3月7日中の土曜日 (全8回) 13時30分～15時30分
場 所	一般社団法人 J A W S (ジェイ エイ ダブリュー エス) Tel.0120-987-618 (半田市有楽町6-62 ボラン有楽1階)
主催者	半田市 (担当: 福祉部 生活援護課) ※本事業は、「半田市生活困窮者就労準備支援事業」の一環で、同事業を受託する一般社団法人 J A W S が行うもの。
対象者	ひきこもりの方を抱える家族 (本人も可) 定員 10 名
趣 旨 (目的)	ひきこもりの方への支援にあたっては、本人との接触が困難なケースも多く、まずは一番身近にいる家族の理解と協力を得て、“家族を通じた支援”を展開していくことが求められています。そこで本事業では、家族自身の負担を軽減することや家族関係を改善することを目的に、臨床心理士が“当事者と向き合うコツ”についてレクチャーします。
内 容	別紙チラシ参照
担当者 情熱メッセージ	「ひきこもり 100 万人時代」と言われる昨今。今年の春には、川崎市や東京都練馬区など、ひきこもりの方 (とされる方) による痛ましい事件がきっかけとなり、世間において“ひきこもり”に対する関心が一気に高まりました。 そうしたなか、ひきこもりの方への相談支援については、より住民に身近な基礎自治体レベルにおいて対応することが強く求められており、本市自立相談支援機関 (くらし相談室 / 半田市生活援護課内) としても、本腰を入れて取り組んでいく必要があると認識しています。 報道機関の方におかれましては、こうした社会問題を取り上げていただくことで、“潜在的なニーズが高いものの、表面化しにくい問題”を掘り起こし、必要な支援機関につながる契機をつくっていただくという観点の中で、ぜひ周知にご協力いただきたいと思います。
別 紙	☒ (啓発チラシ) ・ 無

半田市企画課広報情報担当
0569-84-0603

